



テン(冬毛)
Martes melampus
食肉目 イタチ科

キツネ(冬毛)
Vulpes vulpes
食肉目 イタチ科

ノウサギ(冬毛)
Lepus brachyurus
食肉目 ウサギ科

ノウサギ(夏毛)
Lepus brachyurus
食肉目 ウサギ科

2023

1

January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7
8	9 成人の日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

12

1 2 3
 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17
 18 19 20 21 22 23 24
 25 26 27 28 29 30 31

2

1 2 3 4
 5 6 7 8 9 10 11
 12 13 14 15 16 17 18
 19 20 21 22 23 24 25
 26 27 28

今年の干支は「癸卯(みずのとう)」です。日本館2階南翼では冬毛と夏毛のノウサギの剥製標本を展示しています。本州以南に生息する日本固有種で、分布域の中でも積雪量が多い地域では、白色の冬毛に換毛するため、トウホクノウサギと呼ぶこともあります。一方で暖かい地域では、冬も夏毛と同様褐色のままです。

遠くの情景を手に取りるように眺めてみたい。
そんな夢がついに実現。

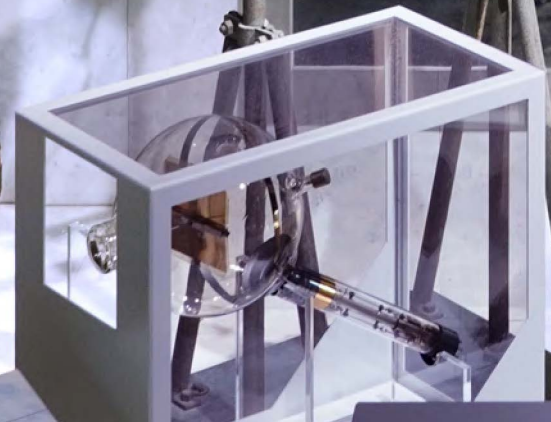
19世紀末から欧米では画像を送る研究が盛んになった。当初は機械的な方法が試みられたが、実用化の決め手となったのは、光電管やブラウン管などの電子管の発明である。この新しい技術に対する研究意欲は日本でも高く、昭和の時代になると高柳式テレビジョンやNE式写真電送装置など、欧米と肩を並べる研究成果が現れた。

高柳式テレビのしくみ



テレビカメラの撮光
高柳式テレビ 送像装置の受光部分

2対で1組、1930(昭和5)年のラジオ放送開始5周年記念展覧会や、1936(昭和11)年に開催で行われた企業展覧会で使用された。撮写体を縮小し、ニール管の放射光を導いたアーチ状の光で撮写体を照射する。反射光を撮写体の左右に配置した光増幅器で捉えて、映像信号とした。



地球館2階：高柳式テレビジョン

2023

2

February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 建国記念日
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25
26	27	28				

1
 1 2 3 4 5 6 7
 8 9 10 11 12 13 14
 15 16 17 18 19 20 21
 22 23 24 25 26 27 28
 29 30 31

3
 1 2 3 4
 5 6 7 8 9 10 11
 12 13 14 15 16 17 18
 19 20 21 22 23 24 25
 26 27 28 29 30 31

日本におけるテレビの研究開発は、1923年から始まります。1953年2月にはNHK東京テレビジョンが開局し、テレビの本放送を開始しました。地球館2階では、1930年のラジオ放送開始5周年記念展覧会における公開実験や、1936年に当館で行われた記念講演会で使用されたテレビ実験装置を展示しています。



地球館地下1階：恐竜の化石

2023

3

March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21 春分の日	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2

1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28

4

1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30

地球館地下1階「地球環境の変動と生物の進化ー恐竜の謎を探るー」では、ティラノサウルスやアパトサウルスの全身骨格標本をはじめ、世界的にも大変貴重なトリケラトプスの産状化石(尾以外の大部分が実物)等を展示しています。今月から、特別展「恐竜博 2023」(会期: 2023年3月14日(火)～6月18日(日))が開幕します。



1892
土佐
カラヤ

HERBARIUM TOMITARO MAKINO
牧野富太郎植物標本

Coll. T. Makino

土佐
1892

キク科トウヒレン属の標本 (所蔵: 筑波研究施設)
1892 (明治25)年に牧野富太郎が土佐唐谷 (高知県安芸郡)で採集した。
採集地のメモ書きは牧野の直筆。新聞は同年4月21日の新聞「日本」。

2023

4

April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29 昭和の日
30						

3
 1 2 3 4
 5 6 7 8 9 10 11
 12 13 14 15 16 17 18
 19 20 21 22 23 24 25
 26 27 28 29 30 31

5
 1 2 3 4 5 6
 7 8 9 10 11 12 13
 14 15 16 17 18 19 20
 21 22 23 24 25 26 27
 28 29 30 31

牧野富太郎 (1862-1957) は、日本の植物学の黎明期に活躍した植物分類学者の草分けの一人。今月からスタートしたNHKの連続テレビ小説「らんまん」の主人公は牧野富太郎をモデルにしています。また、4月24日は牧野富太郎の誕生日にあたります。



重要文化財 日本館（旧東京科学博物館本館）

2023

5

May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4

1
 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15
 16 17 18 19 20 21 22
 23 24 25 26 27 28 29
 30

6

1 2 3
 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17
 18 19 20 21 22 23 24
 25 26 27 28 29 30

日本館（旧東京科学博物館本館）は、1931年9月に竣工。文部省大臣官房建築課の設計によるネオルネサンス様式を基調とした建物で、当時の科学技術の象徴であった飛行機型のデザインをしています。2008年に国指定重要文化財となりました。

現代の動物園で飼われている鳥類の卵も数人組
で作られている。赤毛、エリフと動物園で有名な
とある。この卵で動物園の鳥を産むたらしい。と
鳥類園を拡大させた人が、この鳥類園で飼われて



フローレス島にいた動物たち

- 縮小化したゾウのなかまビッグミー・スタコドン
(*Stegodon Borneas insularis* 赤毛、フロレスエンスと同時期に絶滅)
- 巨大化したハゲコウのなかま
(*Centropus robustus* 赤毛、フロレスエンスと同時期に絶滅)
- 巨大化したラット
(*Papagomys aeneus* 赤毛)
- コモトオトカガ
(*Varecia saramensis* 現生種)

ホビット

2003年にインドネシアのフローレス島で発見された、
小型原人ホモ・フロレスエンス。小脳用輪軸の
小人たちになぞらえ、ホビットと呼ばれる。神秘的な
動物たちのいる島へ、いつどうやって渡ったのか？
体も脳も、ここまで小型化したのはなぜか？ 1万
数千年前まで生き残ったと、どうして消えたのか？
謎はつきない。

2023

6

June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5

1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

7

1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 31

長年におよぶ調査で得られた化石や石器という証拠を、解剖学と考古学の知識にもとづき比較研究することによって、身体の特徴や精神活動が推測され、さらに想像力を加味して復元が完成します。地球館地下2階では、猿人・原人・旧人の復元像を展示しています。



地球館 1階：海洋生物の多様性

2023

7

July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17 海の日	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6

1 2 3
 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17
 18 19 20 21 22 23 24
 25 26 27 28 29 30

8

1 2 3 4 5
 6 7 8 9 10 11 12
 13 14 15 16 17 18 19
 20 21 22 23 24 25 26
 27 28 29 30 31

海は地球表面の約70%を占め、生き物にとって最大の生息場所です。地球館1階「海洋生物の多様性」では、造礁サンゴ類や海藻、ジンベエザメ、ウェッデルアザラシのほか、深海に生息するゴエモンコシオリエビやシロウリガイ等を展示しています。



2023

8

August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11 山の日	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

7

1
 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15
 16 17 18 19 20 21 22
 23 24 25 26 27 28 29
 30 31

9

1 2
 3 4 5 6 7 8 9
 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23
 24 25 26 27 28 29 30

筑波実験植物園の熱帯資源植物温室では、バナナ、カカオ、コショウ（食料）、パラゴムノキ（産業原料）、マホガニー（木材）、クミスクチン（薬）、ハイビスカス（鑑賞）など、熱帯で栽培されるさまざまな有用植物を展示しています。



地球館1階：マッコウクジラ半身模型付全身骨格標本

2023

9

September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 敬老の日	19	20	21	22	23 秋分の日
24	25	26	27	28	29	30

8

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

10

1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

マッコウクジラの最大の特徴である頭部内部構造を詳細に再現した半身模型と実物全身骨格を組み合わせた世界初の展示標本です。マッコウクジラは、体長 15m をこえる最大のハクジラで深さ 3,000m まで潜るといわれており、深海で大型のイカなどを捕らえて食べます。



日本館 3階 北翼：アンモナイト化石

2023
10
October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9 スポーツの日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9
 1 2
 3 4 5 6 7 8 9
 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23
 24 25 26 27 28 29 30

11
 1 2 3 4
 5 6 7 8 9 10 11
 12 13 14 15 16 17 18
 19 20 21 22 23 24 25
 26 27 28 29 30

10月15日は「化石の日」。日本館3階北翼では、アンモナイト化石を展示しています。北海道の中央部では1mを超える巨大なものやニッポニテスを含む異常巻アンモナイトなど、これまでに500種類以上が見つかっています。



地球館 2 階：しんかい6500 1/2 模型 (所蔵：海洋研究開発機構)

2023
11
November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3 文化の日	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 勤労感謝の日	24	25
26	27	28	29	30		

10
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

12
1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30
31

「しんかい 6500」は、乗員3名を乗せて水深6,500メートルまで潜ることができる有人潜水調査船です。1990年に最初の潜航を実施し、それから30年以上、世界の深海調査研究の中核を担っています。



2023
12
December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30

1
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

港区白金台にある附属自然教育園では、四季折々の自然が楽しめます。11月から12月頃にかけてはイロハモミジやツタ、ハゼノキなどの紅葉に、ムクロジ、マンサク、シロモジなどの黄葉で園内が鮮やかに彩られます。また園内ではカワセミの繁殖が確認されています。当園ではその生態についても研究しています。